

文部科学記者会・科学記者会
横浜市政記者会 同時発表

2022年1月21日
横浜市立大学



データでミライをデザインする。 「WiDS TOKYO @ Yokohama City University」 第4回シンポジウムを2022年3月8日に開催！

横浜市立大学データサイエンス学部は、WiDS*1 TOKYO @ Yokohama City University 第4回シンポジウムを2022年3月8日(火)にオンラインにて開催します。

米国スタンフォード大学との連携で実施する本シンポジウムでは、テーマを「データからストーリーをつむぐ」として、データサイエンス関連領域で活躍する女性たちを主体とした発表・討論を通じ、この領域の現在を見つめ、将来を語りあい、多くの人材をこの領域にいざなうことを目指します。

第4回となる今回は、スタンフォード大学のWiDS創始者から、日本のデータサイエンスに関心のある若い世代へのメッセージをいただきます。

また、プログラムの1つであるライトニングトーク(LT)・セッションの開催にあたり、参加者を募集します。ライトニングトークとは、「短い時間で行うプレゼン」で、今回は3分間で、発表は一人または複数人のチーム単位とし、「データサイエンス×SDGs17目標中の1目標×任意のキーワード」をテーマとして、アイデアや今後の抱負などを発表するものです。

<シンポジウムの概要>

名 称：WiDS TOKYO @ Yokohama City University 第4回シンポジウム
～データからストーリーをつむぐ～

開 催 日：2022年3月8日(火) 10:00～12:45

場 所：オンラインにて開催

定 員：300名(事前申し込み制:定員に達し次第、締切)

参 加 費：無料

参加登録先 URL：<https://wids-ycu.jp/sympo>

<プログラム> (敬称略)

◆開会・主催者挨拶 10:00～

小野陽子*2 (WiDS TOKYO @ YCU アンバサダー・横浜市立大学データサイエンス学部准教授)
スタンフォード大学からのビデオメッセージ(自動生成の翻訳を画面上に表示予定)

◆講演及びパネルディスカッション

◇講演1 10:20～

演者：関美和 (MPower Partners ゼネラル・パートナー)

演題：ファクトフルネスヒットの舞台裏

◇講演 2 10:50~

演者：鈴木世津（ヒューネクスト株式会社 CEO、前ウィコネクトインターナショナル日本プロジェクトディレクター）

演題：データで示す、多様性あるサプライヤーが描く^{ストーリー}未来

◇パネルディスカッション 11:20~

- ・ 関美和
- ・ 鈴木世津
- ・ 小野陽子（モデレータ）

◆ライトニングトーク・セッション 11:40~

◇持ち時間最大3分でテーマに即したショート・プレゼンテーションを実施

◇発言テーマ：データサイエンス×SDGs×任意のキーワード

◆ライトニングトーク講評等及び表彰式 12:15~

◆全体講評 12:30~

文部科学省高等教育局専門教育課

◆閉会 12:40~

小野陽子

<ライトニングトーク・セッション参加者募集について>

応募資格：個人またはチーム（最大5名。発表は女性に限る。チームの場合は、半数以上が女性であること。）

応募方法：A4に、応募者氏名、住所、連絡先メールアドレス、年齢、所属、発表テーマ及び要旨（200字以内）を記載したもの（様式自由）を、以下のURLから提出。

応募先URL：<https://wids-ycu.jp/lt2022>

募集人(チーム)数：最大10人(チーム) 応募数によっては選考の場合あり。

発表時間：3分以内

発表テーマ：「データサイエンス×SDGs17目標中の1目標×任意のキーワード」

※SDGsの目標達成のためには、データに基づく思考が重要と考えており、今回のLTでは、上記の17目標の中から1目標を選び、その目標に即した斬新な発表を期待しています。

審査方法：LT審査委員の投票。審査ポイントは以下の通りです。

- (1) SDGsの実現に向けた、社会へのインパクトがある内容かどうか
- (2) データを意識した提言になっているかどうか
- (3) 表現力

表彰：最優秀者1名(チーム)に対して、シンポジウム内において表彰。

エントリー期間：2022年1月20日(木)～2022年2月24日(木) 15:00まで

◆参加者には、シンポジウム当日、オンラインにて直接発表を行っていただきます。その際、6枚までのパワーポイント資料が使用できます。

◆応募書類、発表にかかる知的財産権の扱い等については、従前のアイデア・チャレンジ実

施にかかるものを準用します。

(参考) <https://wids-ycu.jp/challenge/>

問い合わせ先：横浜市立大学 WiDS 事務局 dsc_info@yokohama-cu.ac.jp

<参 考>

*1 WiDS

WiDS (Women in Data Science) とは、米国スタンフォード大学の ICME (Institute for Computational & Mathematical Engineering) を中心とした世界的な活動で、性別に関係なくデータサイエンス分野で活躍する人材の育成を目的とし、世界各地でシンポジウム等を実施。日本においては、2018 年度より本学が、スタンフォード大学 ICME と連携し、国内の産官学の協力を得て、WiDS を冠したシンポジウム等を主催しています。

*2 WiDS TOKYO @ Yokohama City University アンバサダー 小野 陽子 (おのようこ)



データサイエンス学部准教授。WiDS アンバサダーは、WiDS の地域大会の企画・実施およびデータサイエンティストの活動全般をサポートする役割を担う者として、米国スタンフォード大学より任命されるものです。小野准教授は、日本国内で初めて WiDS のアンバサダーに就任し、産官学による連携のもと、WiDS を冠した本シンポジウムの企画・実施等の活動を行っています。

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS** 横浜市立大学は、
様々な取り組みを
通じてSDGsの達
成を目指します。



WOMEN IN DATA SCIENCE
TOKYO @
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

コロナ禍感染拡大防止のため、
オンライン開催いたします。
多数の方のご登録・参加をお待ちいたします！

データでミライをデザインする。

3月8日(火)
オンライン・
シンポジウム

WiDS TOKYO @ Yokohama City University 第4回 シンポジウム

～データからストーリーをつむぐ～

来るべき超スマート社会では、あらゆる分野で性別を問わずデータサイエンス人材の活躍が期待されています。米国スタンフォード大学との連携で実施する WiDS Tokyo@ Yokohama City University シンポジウムでは、データサイエンス関連領域で活躍する女性たちを主体とした発表・討論を通じ、この領域の現在を見つめ、将来を語りあい、多くの人材をこの領域にいざなうことを目指します。今回は、WiDS 創始者から若い世代へのメッセージをいただきつつ、**データ(事実)からストーリーをつむぐ(世界を考える)**ことの意味、醍醐味などを語り合います。なお、このシンポジウムは、コロナ禍の現状を考慮しオンラインで開催します。

※申し込み:以下の URL よりお申し込みください。先着 300 名の方に、当日の参加方法をご連絡いたします。

<プログラム>

(敬称略)

2022年3月8日(火)

| 開場 | 9:45 | |
|--------------------------------------|-------------|---|
| 開会 | 10:00~10:20 | 小野 陽子 (WiDS TOKYO @ Yokohama City University アンバサダー) スタンフォード大学 WiDS 共同ディレクターのメッセージ Margot Gerritsen/Karen Matthys/Judy Logan |
| 講演1 「ファクトフルネスヒットの 舞台裏」 | 10:20~10:50 | 関 美和 (MPOWER Partners ゼネラル・パートナー) |
| 講演2 「データで示す、多様性ある サプライヤーが描く未来」 | 10:50~11:20 | 鈴木 世津 (ヒューネクスト株式会社 CEO、前ウィコネット インターナショナル日本プロジェクトディレクター) |
| パネルディスカッション | 11:20~11:40 | データからストーリーをつむぐこと 関 美和/鈴木 世津/小野 陽子 (モデレータ) |
| ライトニングトーク (LT) ・ セッション | 11:40~12:15 | 「データサイエンス×SDGs」をテーマとした ショート・トーク |
| 全体講評 | 12:15~12:30 | 講評等および表彰式 |
| 閉会 | 12:30~12:40 | 文部科学省高等教育局専門教育課 |
| | 12:40~12:45 | 小野 陽子 |

主催



横浜市立大学
データサイエンス学部
SCHOOL OF DATA SCIENCE



詳細はこちらから
<https://wids-ycu.jp>

WiDS Regional Event